

公益財団法人日本文化興隆財団

令和2年度 事業報告書

(令和2年7月～令和3年6月)



令和3年7月
(2021)



平成29年4月
(2017)



みんなの鎮守の森植樹祭
宮城県多賀城市・八幡神社



平成27年
(2015)
6月植樹祭

令和2年度の事業について

公益財団法人日本文化興隆財団
理事長 田 中 恆 清

昨年度に続き新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により当財団の諸事業も停滞を極めました。令和2年度下半期より、持ち直しの兆しがみられたものの、総じて、当財団の諸事業に大きな影響を及ぼしております。

当財団の公益事業も昨年度に続き、事業縮小や中止が余儀なくされ、中長期的な新たな事業のビジョン構築は急務となりました。

コロナ禍で国民の意識と行動は大きく変化し、「公益」も多様化していくことを考えると、コロナ禍の長期化は、新たな「公益」の進め方、事業の構築を推進する転機にもなりました。

特に神道文化検定（神社検定）のオンライン化への決断は、コロナ禍でも神道文化の啓発事業の推進を図ることが可能であることが実証できました。

また、田んぼ学校も圃場での実体験が適わない中、ソーシャルメディアを利用して自宅でも稲作体験を可能とした教材の開発により、地域を問わない全国規模への拡大も視野に入って参りました。

決算を迎え、特に収益部門においては、不動産部門の減収を物品部門で補い、公益に資する財源は確保しましたが、感染症拡大による公益事業の中止や縮小は、財務三基準にも影響しております。

今後も財務三基準の維持に努め、コロナ禍の対応にも万全を期し、運営体制を整えて参ります。

日本文化の興隆事業

■田んぼ学校の開催

田んぼ学校

バケツ稲で事業継続

公益財団法人日本文化興隆財団 × JAグループ

日本の伝統精神、文化と切り離すことが出来ない「米作り」について体験を通して学ぶ「田んぼ学校」は、新型コロナウイルス感染症拡大により、田植え、稲刈りとも中止となったが、コロナ禍に対応した事業継続を図るべく、圃場体験だけではなく自宅に居ながら稲作体験ができるよう、種もみ、肥料、土、バケツ、育て方マニュアルをセットにした「おうちで田んぼ学校」を作成し、試験的に全国から50名の参加者を募った。

参加者には各々成長記録をツイッターで投稿することが参加条件となっており、収穫の際は稲穂を事務局で纏め、神宮の神嘗祭に懸税として奉納する予定。

次年度は、圃場体験の再開と併せて、バケツ稲体験を100名規模に拡大するとともに、成長記録を参加者が平易に記録できるシステムの開発を進めている。

参加費用:1,500円(種籾・肥料・土・バケツ含)

募集個数:50セット

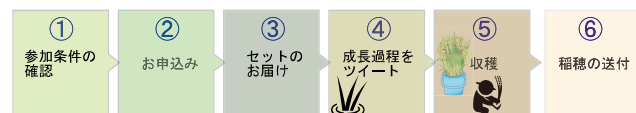
事業主催:日本文化興隆財団

事業協力:JAグループ・農協観光

参加条件:①芽出し②種まき③苗の移し替え④中干⑤実り⑥稲刈りの様子をツイッターに投稿する。



参加者からの投稿



■日本文化セミナー

①日本神話一人語り公演「日本神話 イザナミ語り」

新型コロナウイルス感染症拡大により中止

②各種文化講座

『古事記』と大祓詞に関連した一般を対象としたセミナーを継続開催したが、新型コロナウイルス感染症拡大により、不定期開催となった。

■鎮守の森保全活動

東日本大震災で流失した鎮守の森再生に向けて、東北復興支援の一環として全十一箇所で植樹をおこなった「みんなの鎮守の森植樹祭」開催地の樹木の経過観察を継続しているが、東日本大震災から10年が経過し、全会場で植栽樹種を監修した横浜国立大学名誉教授の宮脇昭氏が提唱する潜在自然植生による森づくりの成果を測定するべく、協力団体の専門家による本格的な調査を開始した。調査結果は、令和3年度中の発行を予定している。

調査協力団体: NPO法人国際ふるさとの森づくり協会

NPO法人地球の緑を育てる会

エスペックミック株式会社

全11会場の植樹祭の植生調査、監修、指導していただきました、宮脇昭横浜国立大学名誉教授(93)は令和3年7月16日逝去されました。

また、第1回～4回まで植樹祭運営に尽力いただいた国際ふるさとの森づくり協会の高野義武理事長(77)は令和3年8月12日に逝去されました。

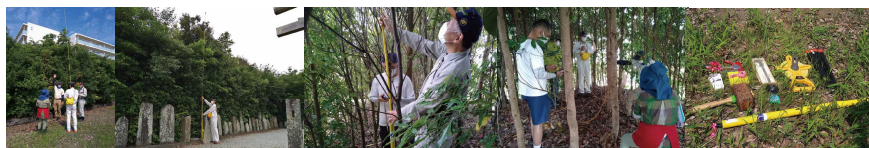
宮脇 昭
横浜国立大学名誉教授

写真: 八重垣神社

国際ふるさとの森づくり協会
高野義武理事長

写真: 吉田浜神明社

全11会場の植生調査の様様



みんなの鎮守の森植樹祭 全11会場の生育状況

①八重垣神社（宮司：藤波祥子）
鎮座地：宮城県亶理郡山元町高瀬笠野128
開催日：平成24年6月24日（日）
参加者：530名 植樹数：3238本



⑦見渡神社（宮司：高木美郎）
鎮座地：福島県いわき市久之浜町金ヶ沢
開催日：平成26年4月27日（日）
参加数：280名 植樹数：790本



②吉田浜神明社（宮司：三品正隆）
鎮座地：宮城県亶理郡亶理町吉田字須賀畑108
開催日：平成24年8月14日（火）
参加数：250名 植樹数：1118本



⑧新山神社（宮司：千葉秀司）
鎮座地：宮城県石巻市雄勝町上雄勝3-35
開催日：平成26年5月3日（土）
参加数：200名 植樹数：2800本



③青巢稲荷神社（宮司：藤本和敏）
鎮座地：宮城県亶理郡山元町山寺字浜96
開催日：平成25年4月29日（月）
参加数：350名 植樹数：2448本



⑨五十鈴神社（宮司：千葉秀司）
鎮座地：宮城県石巻市雄勝町分浜字分浜238
開催日：平成26年7月6日（日）
参加数：400名 植樹数：3330本



④川口神社（宮司：渡邊恵理子）
鎮座地：宮城県亶理郡亶理町荒浜字明神西190-1
開催日：平成25年5月3日（金）
参加数：250名 植樹数：1811本



⑩山田神社（宮司：森 幸彦）
鎮座地：福島県南相馬市鹿島区北海老字磯ノ上
開催日：平成27年5月3日（日）
参加数：500名 植樹数：2970本



⑤鳥海塩神社（宮司：三品正隆）
鎮座地：宮城県亶理郡亶理町長瀬字大橋199
開催日：平成25年7月7日（日）
参加者：550名 植樹数：2123本



⑪八幡神社（宮司：鍵 三夫）
鎮座地：宮城県多賀城市宮内1-2-50
開催日：平成27年6月14日（日）
参加数：1000名 植樹数：6024本



⑥伊去波夜和氣命神社（宮司：大國龍笙）
鎮座地：宮城県石巻市大宮町5-45
開催日：平成26年4月6日（日）
参加数：350名 植樹数：3650本



総参加者：4,660名
総本数：30,292本

季刊誌 皇室

季刊誌『皇室』を年4回発行し、令和2年7月から令和3年6月までに通巻87号から90号を発刊した。

同誌は、平成30年7月より公益事業に認定され、皇室文化を通じた日本文化啓発を目的に、日本で唯一の皇室専門誌として継続出版している。

また、一般財団法人日本宝くじ協会の支援を受け、全国3,500箇所の公共図書館宛への寄贈活動をおこなっている。

通巻89号においては、秋篠宮殿下が皇位継承順位一位の皇嗣になられたことを内外に示す立皇嗣の礼の諸儀式を特集し、これまでの御大札関連記事について一連の特集を終えた。



第87号 夏

令和2年7月25日刊 1,760 円税込

数々のお写真で振り返る

天皇・皇后両陛下のお歩み

ご大札を振り返る-ご即位を祝福して-

「11宮家」の肖像

天皇・皇后両陛下

コロナウイルスに関するご発言



第88号 秋

令和2年10月25日刊 1,760 円税込

ご家族のお写真で振り返る

両陛下のお歩み-敬宮殿下とご一緒に-

天皇・皇后両陛下のお稲作とご養蚕

皇族方の学び舎 学習院

ご大札を振り返る 五節舞



第89号 冬

令和3年1月24日刊 1,760 円税込

令和のご大札 立皇嗣の礼

秋篠宮皇嗣・同妃両殿下のご活動

ご創建100年につき明治神宮ご参拝

明治神宮へのご献詠とご下賜品

代々木の杜で宮廷の美と出会う

-明治神宮ミュージアム-



第90号 春

令和3年4月25日刊 1,760 円税込

昭和から平成、令和の御代へ。

受け継がれる行幸啓の姿

植樹祭と両陛下

新年に発表されたご一家のお写真より

グラビア あの花のお出まし

よみがえる正倉院宝物

■季刊誌『皇室』から続々単行本化

同誌で連載された特集記事は公益的に資料価値が高く、皇室文化、日本文化啓発の観点からも単行本化を進めてきた。令和2年度は、同誌で連載した「宮中の盆栽 大道庭園の四季」の単行本化をおこなった。

宮中の盆栽 大道庭園の四季

国賓をもてなす樹高 180 センチを超える五葉松、徳川家光公ゆかりの五葉松、樹齢 600 年におよぶ真柏、豪華絢爛に咲き誇る樹齢 350 年の藤…。松柏類、雑木類、花物、実物他 59 鉢を紹介。

第 78 号から第 89 号に互り連載した「宮中の盆栽大道庭園の四季」を一冊に再編集。

A4 半・160 ページ・オールカラー
4,070 円税込

刊行：株式会社扶桑社
協力：公益財団法人日本文化興隆財団



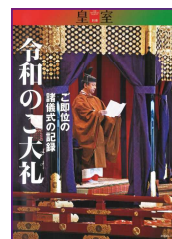
別冊 令和のご大札 ご即位の諸儀式の記録

御位を受け継がれた日から天皇陛下は、数々の儀式を重ねられました。その「ご即位の諸儀式」を鮮やかな写真と詳細な内容、そのほかの関係記事を一冊に再編集。

本誌は第 82 号から 86 号に掲載されたご即位関係記事を一冊に永久保存版として再編集。

A4 判・174 ページ・オールカラー
定価：2,420 円税込

刊行：株式会社扶桑社
企画：公益財団法人日本文化興隆財団



宮中季節のお料理

宮内庁の全面協力と監修による、宮中のお料理に関する初めての出版物。宮内庁大膳課が受け継いできた宮中に伝わる四季折々のお料理、宮中晩餐や園遊会等の宮中行事のお料理などを網羅。

B5 半横・160 ページ・オールカラー
定価：3,300 円税込

宮内庁監修 『皇室』編集部編





検定事業

神道文化検定（神社検定）オンラインで実施

神道文化検定は、神道に対する正しい知識の啓発と日本文化の興隆を図る事業として、神社本庁が監修、一般財団法人神道文化会、株式会社扶桑社の後援で平成24年から毎年開催している。

第9回となる同検定は、令和2年6月に全国46会場で開催される予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、令和3年6月27日に延期したが、同感染症の収束に目途が立たず、会場試験を断念し、オンライン化を進めるべくシステム開発を進めた。

オンラインでの実施により、全都道府県から3,230名の申し込みがあった。

《主催》公益財団法人日本文化興隆財団

《監修》神社本庁

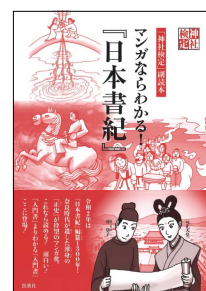
《後援》一般財団法人神道文化会・株式会社扶桑社

《日程》令和3年6月27日（日）

《開催形式》オンライン形式 ※自宅等でパソコン及びタブレットで受検

■初級を新設

オンライン化を機に受検層の拡大を図るべく「初級」を新設した。日本書紀編纂1300年を記念して発刊した『マンガならわかる！『日本書紀』』を初級のテキストとして『日本書紀』の理解促進に努めた。



■神社検定オリジナルラジオ番組を制作

東京FMが運営するインターネットラジオ「ADee(オーディー)」の中で、神社検定参級合格者の俳優・崎山つばさ氏がパーソナリティーを務める神社検定提供番組「神社の時間」を令和3年4月から6月までの全13回にわたり制作、放送した。

同番組は、毎回ゲストと神社検定の問題を解きながら神社を話題にしたトーク番組として構成され、特に若年層を対象に神社に対する理解促進を図った。統計では、同インターネットラジオ総番組数700以上ある中で、同番組を聴いた個人が26,945人、再生回数は75,392回となり、令和3年5月の月刊統計では、700以上の番組中、再生回数で1位を獲得した。



《実施期間》令和3年4月～6月・毎週土曜日正午配信「神社の時間」・13回
TOKYO FM生放送「山崎怜奈の誰かに話したかったこと」・1回

ゲスト出演者



賀集利樹(俳優) 萩谷慧伍(歌手) 相川七瀬(歌手) 大林素子(スポーツキャスター) 平祐奈(女優) 島田秀平(芸人)

■神社検定公式テキスト及び参考テキスト累計215,000冊突破

神社のいろは	57,000	万葉集と神様	7,000
神話のおへそ	32,000	神話のおへそ『古語拾遺』編	6,700
神社のいろは続	22,000	神話のおへそ『日本書紀』編	9,000
遷宮のつば	18,000	伊勢神宮と、遷宮のかたち	7,000
神社のいろは要語集宗教編	5,400	マンガならわかる！『日本書紀』	5,000
日本の祭り	9,000	神社検定問題と解説	33,100
神社のいろは要語集祭祀編	4,600	合計	215,800



■合格者数と合格率

等級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	312名	287名	150名	52.3%	70点
貳級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	978名	867名	587名	67.7%	75.6点
参級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	1,518名	1,381名	1,230名	89.1%	85.5点
初級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	422名	391名	383名	98%	47.3点

合計

3,230名

2,926名

2,350名

(第8回 2,799名)

■都道府県別合格者数

	都道府県	壹級			貳級			参級			初級			合計		
		申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者
1	北海道	4	4	3	23	21	13	39	32	31	9	8	8	75	65	55
2	青森県	0			3	3	2	7	7	7	6	6	6	16	16	15
3	岩手県	1	1		3	3	3	8	5	5	0			12	9	8
4	宮城県	2	1	1	11	11	10	18	17	15	9	8	8	40	37	34
5	秋田県	0			6	5	3	5	5	5	0			11	10	8
6	山形県	1	1	1	3	3	3	8	7	7	3	3	3	15	14	14
7	福島県	3	3		9	6	3	16	15	13	5	4	4	33	28	20
8	茨城県	3	2		16	15	10	22	21	19	6	5	5	47	43	34
9	栃木県	2	2	2	14	12	11	17	17	15	10	9	9	43	40	37
10	群馬県	3	3	1	8	6	4	18	15	10	9	7	6	38	31	21
11	埼玉県	41	36	14	89	81	53	139	121	100	38	35	34	307	273	201
12	千葉県	19	18	10	58	54	37	104	95	88	22	21	20	203	188	155
13	東京都	72	64	32	197	171	114	311	284	259	83	82	80	663	601	485
14	神奈川県	25	23	13	93	80	51	149	139	120	45	41	40	312	283	224
15	新潟県	2	2		12	11	7	19	19	16	7	7	7	40	39	30
16	富山県	3	3	3	8	8	5	8	8	8	1	1	1	20	20	17
17	石川県	3	3	1	7	6	4	5	5	4	1	1	1	16	15	10
18	福井県	3	3	1	4	4	3	5	4	3	0			12	11	7
19	山梨県	0			5	4	3	3	3	3	0			8	7	6
20	長野県	4	4	3	9	8	6	14	12	11	4	4	4	31	28	24
21	岐阜県	2	2	1	10	7	5	16	13	11	4	4	4	32	26	21
22	静岡県	9	8	3	16	12	8	34	31	27	10	8	8	69	59	46
23	愛知県	12	12	10	44	39	21	69	67	63	21	21	20	146	139	114
24	三重県	12	12	5	27	25	15	57	53	44	3	3	3	99	93	67
25	滋賀県	5	5	3	11	10	5	11	9	8	1	1	1	28	25	17
26	京都府	10	9	6	24	24	16	52	48	45	17	17	17	103	98	84
27	大阪府	19	17	10	88	77	54	105	93	86	31	26	26	243	213	176
28	兵庫県	12	10	8	33	30	18	49	43	38	17	15	15	111	98	79
29	奈良県	4	4	1	17	14	10	15	14	14	4	4	4	40	36	29
30	和歌山県	1	1		4	4	3	13	13	11	1	1	1	19	19	15
31	鳥取県	1	1		2	2	1	2	1	1	1	1	1	6	5	3
32	島根県	0			9	7	5	9	8	8	2	2	2	20	17	15
33	岡山県	5	5	4	11	10	9	18	18	17	6	6	6	40	39	36
34	広島県	3	3	1	18	16	13	23	22	20	6	6	6	50	47	40
35	山口県	3	3	2	7	5	4	17	14	11	4	4	4	31	26	21
36	徳島県	0			5	5	2	7	7	7	1	1	1	13	13	10
37	香川県	0			7	5	3	5	5	3	2	2	2	14	12	8
38	愛媛県	3	3	2	5	5	4	6	6	5	3	3	3	17	17	14
39	高知県	0			1	1	1	2	2	2	1	1	1	4	4	4
40	福岡県	6	6	4	31	29	23	34	31	23	14	11	11	85	77	61
41	佐賀県	3	3	1	6	5	4	7	7	6	1	1	1	17	16	12
42	長崎県	3	3		7	7	5	6	4	3	1	1	1	17	15	9
43	熊本県	1	1	1	6	6	5	14	12	12	1	1	1	22	20	19
44	大分県	1	1		3	4	3	9	9	8	0			13	14	11
45	宮崎県	1			3	2	1	6	6	6	2	2	2	12	10	9
46	鹿児島県	4	4	2	5	4	4	12	9	8	7	4	3	28	21	17
47	沖縄県	1	1	1	0			5	5	4	3	3	3	9	9	8
総計		312	287	150	978	867	587	1,518	1,381	1,230	422	391	383	3,230	2,926	2,350

■都道府県別申込者 前回との比較

第9回

地域	初級	参級	弐級	弐級	総計	構成比	前回差	前回比
北海道	9	39	23	4	75	2.3%	-7	91.5%
東北	6	7	3	0	16	0.5%	3	123.1%
岩手県	0	8	3	1	12	0.4%	1	109.1%
宮城県	9	18	11	2	40	1.2%	-4	90.9%
秋田県	0	5	6	0	11	0.3%	-7	61.1%
山形県	3	8	3	1	15	0.5%	4	136.4%
福島県	5	16	9	3	33	1.0%	-1	97.1%
関東	6	22	16	3	47	1.5%	2	104.4%
茨城県	10	17	14	2	43	1.3%	3	107.5%
栃木県	9	18	8	3	38	1.2%	3	108.6%
群馬県	38	139	89	41	307	9.5%	2	100.7%
千葉県	22	104	58	19	203	6.3%	15	108.0%
東京都	83	311	197	72	663	20.5%	-2	99.7%
神奈川県	45	149	93	25	312	9.7%	4	101.3%
甲信越	7	19	12	2	40	1.2%	0	100.0%
北陸	1	8	8	3	20	0.6%	-5	80.0%
富山県	1	5	7	3	16	0.5%	-10	61.5%
石川県	0	5	4	3	12	0.4%	-3	80.0%
福井県	0	3	5	0	8	0.2%	-13	38.1%
山梨県	4	14	9	4	31	1.0%	-7	81.6%
長野県	4	16	10	2	32	1.0%	-5	86.5%
東海	10	34	16	9	69	2.1%	-14	83.1%
岐阜県	21	69	44	12	146	4.5%	-4	97.3%
静岡県	3	57	27	12	99	3.1%	24	132.0%
愛知県	1	11	11	5	28	0.9%	0	100.0%
三重県	17	52	24	10	103	3.2%	4	104.0%
近畿	31	105	88	19	243	7.5%	50	125.9%
滋賀県	17	49	33	12	111	3.4%	-7	94.1%
京都府	4	15	17	4	40	1.2%	-9	81.6%
大阪府	1	13	4	1	19	0.6%	11	237.5%
兵庫県	1	2	2	1	6	0.2%	-4	60.0%
奈良県	2	9	9	0	20	0.6%	6	142.9%
和歌山県	6	18	11	5	40	1.2%	-6	87.0%
中国	6	23	18	3	50	1.5%	1	102.0%
鳥取県	4	17	7	3	31	1.0%	8	134.8%
島根県	1	7	5	0	13	0.4%	6	185.7%
岡山県	2	5	7	0	14	0.4%	-3	82.4%
広島県	3	6	5	3	17	0.5%	2	113.3%
山口県	1	2	1	0	4	0.1%	-2	66.7%
四国	14	34	31	6	85	2.6%	-35	70.8%
徳島県	1	7	6	3	17	0.5%	6	154.5%
香川県	1	6	7	3	17	0.5%	-6	73.9%
愛媛県	1	14	6	1	22	0.7%	-4	84.6%
高知県	0	9	3	1	13	0.4%	-14	48.1%
九州	2	6	3	1	12	0.4%	-1	92.3%
福岡県	7	12	5	4	28	0.9%	-9	75.7%
佐賀県	3	5	0	1	9	0.3%	6	300.0%
長崎県								
熊本県								
大分県								
宮崎県								
鹿児島県								
沖縄								
沖縄県								
総計	422	1,518	978	312	3,230	-	-21	99.4%

第8回

地域	参級	弐級	弐級	総計	構成比
北海道	49	20	13	82	2.5%
青森県	9	2	2	13	0.4%
岩手県	8	3	0	11	0.3%
宮城県	30	9	5	44	1.4%
秋田県	12	6	0	18	0.6%
山形県	6	2	3	11	0.3%
福島県	20	10	4	34	1.0%
茨城県	27	13	5	45	1.4%
栃木県	21	13	6	40	1.2%
群馬県	21	9	5	35	1.1%
埼玉県	169	90	46	305	9.4%
千葉県	102	57	29	188	5.8%
東京都	364	228	73	665	20.5%
神奈川県	181	86	41	308	9.5%
新潟県	20	19	1	40	1.2%
富山県	15	6	4	25	0.8%
石川県	14	6	6	26	0.8%
福井県	7	5	3	15	0.5%
山梨県	14	3	4	21	0.6%
長野県	15	16	7	38	1.2%
岐阜県	22	10	5	37	1.1%
静岡県	43	24	16	83	2.6%
愛知県	82	44	24	150	4.6%
三重県	31	33	11	75	2.3%
滋賀県	15	11	2	28	0.9%
京都府	56	28	15	99	3.0%
大阪府	100	64	29	193	5.9%
兵庫県	63	38	17	118	3.6%
奈良県	26	17	6	49	1.5%
和歌山県	5	3	0	8	0.2%
鳥取県	5	4	1	10	0.3%
島根県	6	7	1	14	0.4%
岡山県	22	19	5	46	1.4%
広島県	28	17	4	49	1.5%
山口県	13	6	4	23	0.7%
徳島県	3	4	0	7	0.2%
香川県	8	6	3	17	0.5%
愛媛県	9	4	2	15	0.5%
高知県	2	2	2	6	0.2%
福岡県	70	34	16	120	3.7%
佐賀県	4	4	3	11	0.3%
長崎県	14	9	0	23	0.7%
熊本県	18	5	3	26	0.8%
大分県	20	7	0	27	0.8%
宮崎県	7	4	2	13	0.4%
鹿児島県	28	7	2	37	1.1%
沖縄県	2	1	0	3	0.1%
総計	1,806	1,015	430	3,251	-

■男女別

	実人数						のべ人数					
	初級	参級	弐級	弐級	参級・弐級 併願	総計	初級	参級	弐級	弐級	総計	シェア
男性	193	581	391	233	214	1,612	193	795	605	233	1,826	56.5%
女性	229	583	233	79	140	1,264	229	723	373	79	1,404	43.5%
総計	422	1,164	624	312	354	2,876	422	1,518	978	312	3,230	100.0%

■年齢別

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	総計
初級	4	19	44	65	116	121	41	12	0	0	0	422
参級	0	59	231	251	387	366	168	51	3	1	1	1,518
弐級	0	21	95	146	266	265	137	43	5	0	0	978
弐級	0	3	11	31	59	97	74	29	8	0	0	312
総計	4	102	381	493	828	849	420	135	16	1	1	3,230

◆前回比

参級	-	64.1%	118.5%	82.3%	75.1%	83.6%	89.8%	89.5%	25.0%	100.0%	33.3%	84.1%
弐級	-	87.5%	118.8%	100.0%	103.9%	91.1%	86.7%	84.3%	71.4%	-	-	96.4%
弐級	-	-	68.8%	73.8%	73.8%	76.4%	65.5%	60.4%	200.0%	-	-	72.6%
総計	400.0%	87.9%	130.9%	100.0%	97.3%	99.2%	91.7%	86.5%	69.6%	50.0%	25.0%	99.4%

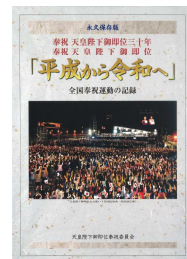
皇室敬慕に関する事業

■奉祝事業記録誌 『平成から令和へー全国奉祝運動の記録ー』を発行

国民の皇室への敬愛の念を育む各種文化事業、広く国民にその趣旨を伝える奉祝事業の実施を目的に、平成31年4月10日、国立劇場(東京)で政府要人、外国公使、各界各層代表約1,800名が参加して「天皇陛下ご即位三十年奉祝感謝の集い」を開催、また、令和元年11月9日、皇居前に約7万人を集め「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典」を開催したが、その一連の奉祝事業の記録に皇位継承儀式と全国の奉祝事業の記録を纏めた『平成から令和へー全国奉祝運動の記録ー』を発行し、一連の奉祝事業を終えた。

編集発行：天皇陛下御即位奉祝委員会

A4判・152ページ



国旗小旗の無償頒布を通じた国旗啓発事業

当財団の公益事業の柱である「国旗小旗」普及活動については、毎年、全国の敬神婦人会の協力を得て、国旗約11万本の奉製を戴いているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、奉迎行事など中止が相次ぎ、23団体に対し5,450本の助成に留まった。

	申請団体	頒布行事名	申請本数	頒布本数
1	日の丸行進の会	第107回日本唱歌を歌う日の丸行進	150	50
2	日の丸行進の会	第108回日本唱歌を歌う日の丸行進	100	30
3	日の丸行進の会	第109回日本唱歌を歌う日の丸行進	70	70
4	日の丸行進の会	第110回日本唱歌を歌う日の丸行進	200	50
5	日の丸行進の会	第111回日本唱歌を歌う日の丸行進	150	70
6	日の丸行進の会	第112回日本唱歌を歌う日の丸行進	80	80
7	日本の建国をお祝いする家族の会	日本の建国をお祝いする集い	100	100
8	日本会議福岡(福岡市)	日本の建国をお祝いする集い	500	中止
9	日本会議福岡(久留米市)	日本の建国をお祝いする市民の集い	500	中止
10	日本会議福岡(筑豊地区)	筑豊地区建国記念の日祝賀会	200	中止
11	日の丸行進の会	第113回日本唱歌を歌う日の丸行進	200	中止
12	日の丸行進の会	第114回榎原神宮紀元節日の丸行進	2,000	1,000
13	浜松市建国記念の日奉祝運営委員会	浜松市建国記念の日奉祝式典	200	200
14	日の丸行進の会	第115回日本唱歌を歌う日の丸行進	200	中止
15	日の丸行進の会	第116回日本唱歌を歌う日の丸行進	200	中止
16	日の丸行進の会	第117回日本唱歌を歌う日の丸行進	200	中止
17	白山神社	聖火リレー応援	500	500
18	福井県神道青年会	東京オリンピック聖火リレー 福井県内応援	100	100
19	盛岡八幡宮	東京2020オリンピック聖火リレー (岩手県盛岡市)	2,000	2,000
20	神道政治連盟 新潟県本部	聖火リレー	200	200
21	日の丸行進の会	第118回日本唱歌を歌う日の丸行進	200	中止
22	諏訪神社	東京オリンピック自宅観戦応援 国旗小旗頒布事業	500	500
23	神道政治連盟 福島県本部	東京2020オリンピックパラリンピック	3,000	500
合計			11,550	5,450

国民の健全育成事業

■硫黄島訪島事業

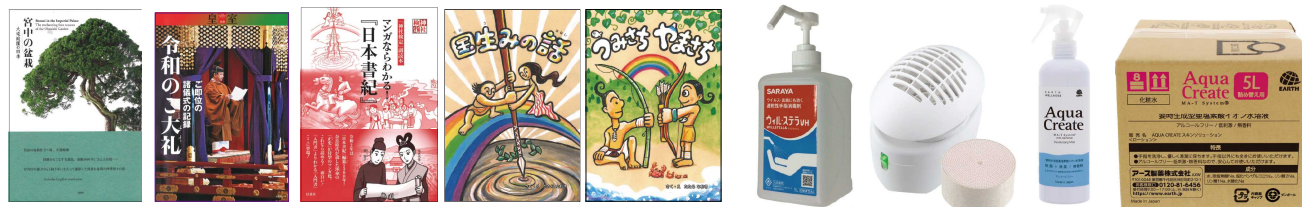
硫黄島での慰霊行事を通して、国の歴史と向き合い、戦跡の巡拝を行ふ中で、日本人として自国を誇ることが出来る歴史観を養い、確かな国家観を備えた人材育成を目的に平成27年から、内閣府と厚生労働省の後援を得て、公益社団法人日本青年会議所との共催事業として東京・小笠原村の硫黄島を訪れ、慰霊行事及び研修を行っている。本事業は硫黄島戦で亡くなられた戦死者御遺族関係者を対象に、全国護国神社、一般財団法人日本遺族会の協力を戴き毎年実施しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった。

■建国メモリアル・ザ・マーチングコンテスト後援事業

建国記念日に開催される「建国記念の日」奉祝記念行事「建国メモリアル・ザ・マーチングコンテスト」を後援し、国旗小旗の提供、助成金の交付等をおこなっているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発出に伴い、同コンテストは中止となったが奉祝式典は、規模を縮小して開催となった。

物品頒布事業

天皇陛下御即位に関連した額、皇室カレンダー、別冊『皇室』を筆頭に国旗関係品、櫛、絵本などの従来品や新たにアース製薬と協力したコロナ対策の衛生用品などにより昨年比37%の増収となり、公益事業費の確保に努めた。



テナント及び貸会議室の施設運営

■テナント事業

- 201号室 財団事務所
- 204号室 一般社団法人日本国際文化協会
- 205号室 公益社団法人全日本仏教婦人連盟
- 206号室 有限会社村上

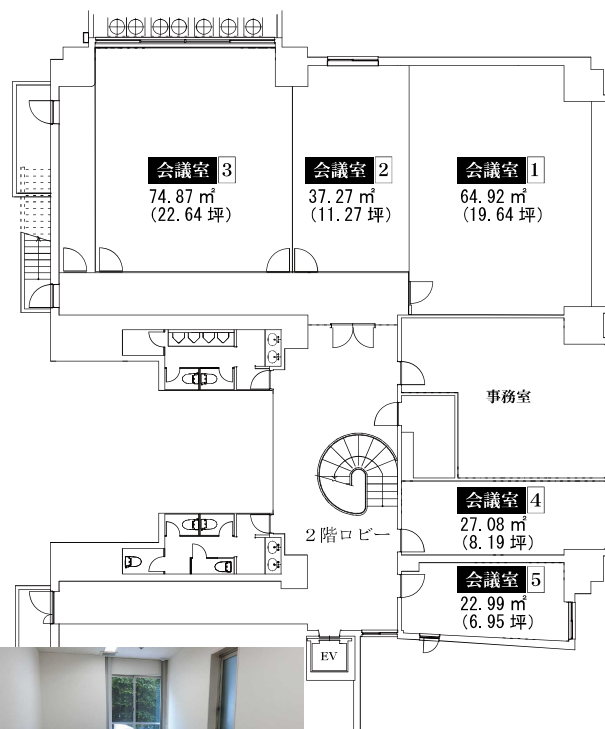
■貸会議室事業

全5室を貸会議室として使用しているが、新型コロナウイルス感染症拡大から前年比14%の減収となった。竣工から17年が経過し、空調、照明機器のメンテナンスを順次おこなっている。

また、ビル全体の壁面等の劣化による大規模修繕工事の計画も始まり、令和4年以降順次施工を予定している。

貸会議室のコロナ対策

- ①定員数を従来の50%に制限
- ②一席1名の利用制限
- ③手洗い水栓の非接触化
- ④手指消毒剤の設置
- ⑤マスク着用の徹底
- ⑥入室時の体温検査
- ⑦机、椅子等の消毒
- ⑧アクリルパーテーションの設置



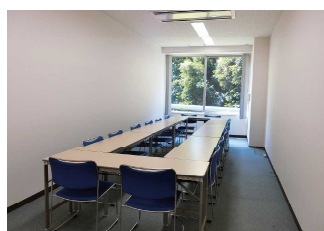
第1会議室



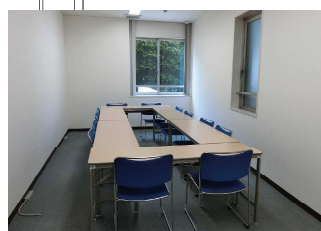
第2会議室



第3会議室



第4会議室



第5会議室

役員に関する事項

理事(10名)

令和3年6月30日現在

役 名	氏 名	役職名
理事長	田中 恆清	(宗)神社本廳総長
副理事長	吉川 通泰	(宗)神社本廳副総長
理 事	市川 伊三夫	久光製薬(株)取締役
理 事	石原 信雄	野村證券(株)顧問
理 事	國分 正明	(公財)東京オペラシティ文化財団理事
理 事	打田 文博	(公財)昭和聖徳記念財団評議員
理 事	田尾 憲男	鉄道情報システム(株)特別顧問
理 事	大原 康男	國學院大學名誉教授
理 事	内田 智	弁護士
理 事	齊藤 有子(高清水 有子)	皇室評論家

監事(2名)

令和3年6月30日現在

役 名	氏 名	役職名
監 事	藤江 正謹	(宗)神社本廳監事
監 事	小關 笑子(小関 微笑子)	(一社)日本国際文化協会常務理事

評議員(5名)

令和3年6月30日現在

役 名	氏 名	役 職 名
評議員	小野 貴嗣	(宗)神社本廳常務理事
評議員	西高辻 信良	(宗)神社本廳常務理事
評議員	孫福 弘明	(宗)神宮 財務部長
評議員	茂木 貞純	(学)國學院大學教授
評議員	橋本 寿史	(株)フジテレビジョン報道局解説員

[参考]

○役員(理事・監事)について

定款第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事5名以上10名以内
- (2) 監事1名以上 3名以内
 - 2 理事のうち、1名を理事長とし、副理事長を1名置くことができる。
 - 3 前項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副理事長をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

○評議員について

定款第10条 この法人に評議員5名以上15名以内を置く。

顧問(5名)

令和3年6月30日現在

役 名	氏 名	役職名
顧 問	鷹司 尚武	(宗)神社本廳統理
顧 問	小松 揮世久	(宗)神宮大宮司
顧 問	三村 明夫	全国神社総代会会長
顧 問	佐柳 正三	(学)國學院大學理事長
顧 問	小串 和夫	(学)皇學館理事長

参与(48名)

令和3年6月30日現在

役 名	氏 名	役職名
参与	吉田茂穂	神奈川県神社庁長
参与	中山高嶺	埼玉県神社庁長
参与	奥澤公慶	群馬県神社庁長
参与	岡嶋千暁	千葉県神社庁長
参与	飯塚 重	茨城県神社庁長
参与	黒川正邦	栃木県神社庁長
参与	根津泰昇	山梨県神社庁長
参与	芦原高穂	北海道神社庁長
参与	鍵 三夫	宮城県神社庁長
参与	丹治正博	福島県神社庁長
参与	工藤 均	青森県神社庁長
参与	宮野直生	山形県神社庁長
参与	面山浩康	秋田県神社庁長
参与	塚原徳生	三重県神社庁長
参与	牧野武彦	愛知県神社庁長
参与	櫻井豊彦	静岡県神社庁長
参与	可知重彦	岐阜県神社庁長
参与	宇治橋 淳	長野県神社庁長
参与	永井康之	新潟県神社庁長
参与	金岡正和	福井県神社庁長
参与	北村嘉章	石川県神社庁長
参与	松本正昭	富山県神社庁長
参与	垣田宗彦	兵庫県神社庁長
参与	樋口俊夫	奈良県神社庁長
参与	馬淵直樹	滋賀県神社庁長
参与	九鬼家隆	和歌山県神社庁長
参与	岡村吉明	鳥取県神社庁長 ※6月30日現在
参与	角河和幸	島根県神社庁長
参与	牧 博嗣	岡山県神社庁長
参与	真庭宗雄	山口県神社庁長
参与	圓藤恭久	徳島県神社庁長
参与	池田博文	香川県神社庁長
参与	三輪田泰生	愛媛県神社庁長
参与	川村公彦	高知県神社庁長
参与	池田剛康	長崎県神社庁長
参与	神 日出男	大分県神社庁長
参与	徳久俊彦	佐賀県神社庁長
参与	宮崎國忠	熊本県神社庁長
参与	本部雅裕	宮崎県神社庁長
参与	種子田 敬	鹿児島県神社庁長
参与	渡慶次 馨	沖縄県神社庁長
参与	湯澤 豊	神社本廳本宗奉賛部長
参与	岩橋 克二	神社本廳秘書部長心得
参与	荒井 実	神社本廳総務部長
参与	香取大信	神社本廳財政部長
参与	牛尾 淳	神社本廳教化広報部長
参与	小間澤 肇	神社本廳渉外部長
参与	浅山 雅司	神社本廳総合研究部長

諸会議（令和2年7月～令和3年6月）

①監事会

日時 令和2年8月26日（水）10時53分～11時43分

場所 日本文化興隆財団会議室

出席監事 1名

②理事会

日時 令和2年8月27日（木）15時～16時3分

会場 神社本廳地下一階会議室

出席理事7名（代表理事含）

出席監事1名

【決議事項】

1. 令和元年度事業報告について
2. 令和元年度決算について
3. 施設維持管理積立金、国民精神昂揚事業推進基金取り崩しについて
4. 第9回神道文化検定（神社検定）振替開催について
5. 顧問・参与の異動について
6. 定時評議員会の書面決議について

③評議員会

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条1項に基づいた書面決議

決議があったとみなされた日 令和2年9月9日（水）

出席評議員 5名

【決議事項】

1. 令和元年度事業報告について
2. 令和元年度決算について
3. 評議員の異動について
4. 役員及び評議員の報酬等に関する規程変更について
5. 定款変更（第27条）について
6. 役員等の費用弁償規程制定について

④監事会

日時 令和3年2月24日 15時～15時45分

会場 神社本廳地下一階会議室

出席監事 2名

⑤理事会

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条王帶定款第33条第2項に基づいた書面決議

決議があったとみなされた日 令和3年6月25日（金）

【決議事項】

1. 令和3年度事業計画の件
2. 令和3年度予算の件
3. 施設維持管理積立金の取り崩しの件
4. 臨時評議員会の決議につき、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条1項の規定により、決議の省略の方法により行うこと

出席理事 10名

出席監事 2名

令和 2 年度事業報告 附属明細書

令和 2 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 3 年 8 月 25 日

公益財団法人日本文化興隆財団

日本文化

公益財団法人 日本文化興隆財団

<https://www.nihonbunka.or.jp/>